

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	産業振興課長 馬庭 正人	電話番号	0852-22-5291
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	しまね産学官連携促進支援事業（産学官連携促進事業を含む）		
目的	(1) 対象	学の知見を利用して技術力の向上を図ろうとする県内企業	
	(2) 意図	企業が有している技術課題が解決したり、大学等有するシーズの製品化や事業化が進む	
事業概要	■技術振興AD・CD人件費&活動費：県内企業のニーズと大学等の技術シーズのマッチングを行うため、しまね産業振興財団に技術振興アドバイザー、技術コーディネーターの配置し、コーディネート活動を行う。 ■大学技術シーズ活用事業：産学連携の促進のため、大学シーズ等を発掘するとともに、県内企業等に対して県内シーズ発表会、関連公開講座、MOT講座を開催する。 ■技術シーズ育成/事業化/連携支援事業：県内の高等教育機関が持つ発展性があり、県内企業での実用化につながる研究シーズの研究・開発を支援する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県内企業等と県内の高等教育機関等（島根大学、松江高専、県産技C）との「共同研究数」と「受託研究数」	目標値	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	件
		取組目標値						
		実績値	131.0					
2	指標名 シーズ連携支援事業による新規事業化件数（平成27年度からの累計）	目標値		0.0	0.0	1.0	2.0	件
		取組目標値						
		実績値	0.0					
		達成率	119.1	-	-	-	-	%
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	54,693	67,938
うち一般財源 (千円)	54,693	35,336

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

島根大学、松江高専、県産技Cの共同研究と受託研究の件数は以下のとおりとなった。

H24・・・県内：77（県外134）
 H25・・・県内：97（県外129）
 H26・・・県内：108（県外129）
 H27・・・県内：131（県外149）
 県内・県外件数とも増加している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成23年度から平成25年度まで、シーズ事業化支援事業の実施により、県内企業による事業化や技術課題の解決・技術開発につながる取組があり、一定の効果があった。
 このため、平成27年度から、より事業化につながるよう事業再編をし、シーズ連携支援事業を構築し、実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 技術・研究開発を戦略的に推進する企業が少ない。
 - 学の技術シーズから実用化へ繋がるケースが少なく、産学連携、事業化へ発展するまでに時間がかかる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 高等教育機関と企業との連携が不足している。
 - 高等教育機関のシーズと企業ニーズとの整合性に欠ける。
- ③原因を解消するための「課題」
- 高等教育機関と企業とのマッチング機会が不足している。
 - 高等教育機関のシーズと企業ニーズの情報が不足しており、両者へ十分に情報が伝わっていない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- シーズ発表会や産学交流会等の開催により、産学のマッチング機会やシーズを活用できる機会を増やしていく。
- 技術コーディネーターや技術相談など通じて企業情報を集約するとともに、高等教育機関と情報交換を密にし、産学のマッチングへ繋げる。
- 県内企業の技術開発や課題解決、高等教育機関等の学生の人材育成や県内定着を目的としたインターンシップ等の受入れを支援する。
- 高等教育機関から県内企業へ積極的に連携するための訪問やPR活動等を支援することでマッチングの機会を増やす。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）